

以降の世帯であり、5月の検針については、検針日によって5%と8%が混在し、不公平が生じてしまったため、5月に限っては、検針を前倒して実施することで、すべての世帯が5%適用となるよう対応していく。

○彩北広域清掃組合のこれを組織する地方公共団体の数の増加、共同処理する事務の変更及び規約の変更について

問 今回の議員定数の改正により、北本市も組合議員に加わることになるが、費用負担はどうなるのか。

答 規約第3条第2号に規定する新施設に関する事務を行ううえで必要な経費は、共通経費も含めて、3市の人口割により負担することになる。

なお、第3条第1号に規定する現施設に関する事務については、従来どおり、行田市と鴻巣市で平等割及び人口割の負担となる。

問 新たな組合議会の審議において、従来の2市に関するものと新たな3市に関するものは、どの程度の割合になると見込んでいるのか。

答 具体的な見込みは立てて



警報機と遮断機の設置

いないが、新施設建設にあたっては、ごみの収集方法や処理方法など、多くの項目を審議し、決定しなければならず、おのずと3市に関する審議の割合が高くなると考えている。

○平成25年度行田市一般会計補正予算について

問 踏切保安設備整備補助金を活用して実施する踏切工事の内容は。

答 今回の工事は、第4種踏切である東行田第1踏切に警報機と遮断機を設置し、第1種踏切とするもので、工事の実施主体は秩父鉄道株式会社である。

市の対応としては、補助金交付のほか、踏切接道部分の段差解消や再舗装などを実施し、利用者の安全対策を充実させていきたい。

問 安心安全観光情報誌制作の事業効果は。

答 「るるぶ特別編集」として制作されることから、関東一円のJTB各支店の店頭や関係するホテルなどに配置することで、市外への観光PRに大きな効果があると考えている。

また、行田市民や市内に訪れた観光客にも活用していただけるよう、市内の主要な観光拠点等に配置し、「るるぶ」の知名度も最大限活用しながら、事業効果を上げていきたい。

健康福祉常任委員会

当委員会では、付託を受けた1議案及び総務文教常任委員会から審査依頼を受けた1議案について審査を行い、いずれも原案のとおり可決しました。

○平成25年度行田市国民健康保険事業費特別会計補正予算について

問 増え続ける保険給付費の歳出削減の取り組みは。

答 医療費適正化の取り組みとして、受診された医療機関

や医療費の確認ができる医療費通知を被保険者へ送付している。また、市民が健康であることが、一番の医療費抑制につながることから、特定健診の受診率向上、各種保健事業の拡充について、保健センター等と連携して引き続き取り組んでいく。

○平成25年度行田市一般会計補正予算について

問 軽度・中等度の難聴児に係る補聴器購入費補助金21万8千円の積算根拠は。

答 利用者の多い高度耳かけ型補聴器の2台(両耳分)の3名分に3分の2を乗じた額である。(3分の1は自己負担)

問 水城公園管理事務所施設を活用する新しい子育て拠点施設の委託先、選考方法はど



子育て拠点施設(予定地)

う考えているか。

答 行田市地域子育て支援拠点事業実施要綱に基づき、社会福祉法人や特定非営利活動法人に声がけし、プロポーザル方式で選考する。なお、平成26年度当初から事業を開始するため、債務負担行為の設定をする。

問 新しい子育て拠点施設の改修工事の進捗状況はどうなっているか。

答 現在、入札の手続中で、12月中の発注、平成25年度内の完成を予定している。

議会運営委員会

11月27日に12月定例会運営のための委員会を開催し、会期日程、議案の取り扱いなどを協議しました。その際、一般質問の発言順序をくじにより決定しました。

また、12月20日には議会運営に関することについて協議しました。

なお、本会議終了後に次期定例会の初日及び日程表(予定)について協議するとともに、12月定例会の総括を行いました。